あびこ型「地産地消」推進協議会

会報 第４３号　　２０１７年３月15日発行

*** 目 次 ***

１．地産地消エコバスツアー
２．援農ボランティアアンケート
３．農力発見プロジェクト
４．年末のつどい
５．新年ちびっ子餅つき大会
６．イベント
・採って食べよう
・我孫子市消費生活展
７．協議会ホームページ１周年
８．編集後記

子ども餅つき大会

採って食べよう（香取農園）

第１３回養成講座

消費生活展

発　行　：　あびこ型「地産地消」推進協議会　　会長 三宅　輝夫
住　所　：　270-1155 我孫子市我孫子新田 22-4（あびこん内）
（業務日　月・火・木）Tel　04-7128-7770　Fax　04-7128-7771
E-mail　abikochisanchisyokyo@sky.plala.or.jp
URL　http://abiko-chisan.com　（あびこ地産地消コム）

１．地産地消エコバスツアー

エコ農産物普及推進部会　　栗原　祐子

美味しくって！楽しくって！ためになる！地産地消エコバスツアー

秋晴れに恵まれた 28.11.23(祝日)、地産地消エコバスツアーを行いました。協議会会員の他一般募集の参加者も交えた総勢４１名で、我孫子市のバスを利用し、香取市にある障がい者の就労支援を目的とする社会福祉法人福祉楽団の「恋する豚研究所」と佐原を訪問しました。

社会福祉法人福祉楽団の「恋する豚研究所」

「恋する豚研究所」は、発酵飼料で育てたこだわりの豚肉と地産地消の野菜を材料にしたメニューのレストランです。ここでは、少し早めのブランチでおいしい豚しゃぶしゃぶを満喫しました。食後にスタッフの方から､豚の飼料にリサイクル食材を発酵させたものを使用し、飼育から出たものを発酵させて畑に返して作物づくりをする循環型農業に取り組んでいるという話を伺いました。

「恋する豚研究所」内で全員写真

美味しい豚しゃぶしゃぶの昼食

「恋する豚」という名前は､「豚も恋をすればおいしくなるはず」という想いをこめて名付けた。との事です。また、恋する豚研究所は社会福祉法人「福祉楽団」に属していて、この福祉法人は香取市や多古町で、地域に根付いた高齢者施設の事業が有名です。

その後、一路小江戸の情緒豊かな風情の街「佐原」へ。
東薫酒造の酒造りの現場を見学・試飲後、 日本地図を作りあげた伊能忠敬の生家や記念館、民家などを散策。帰り道に発酵の里「神崎道の駅」を視察し、バスの中では、自己紹介や、農家会員の野菜や農業の話なども披露され参加者全員が満足できた楽しい旅でした。

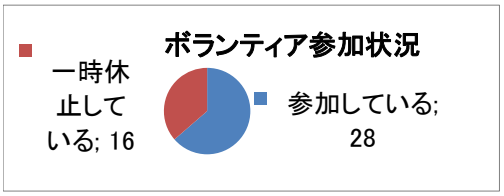
2．援農ボランティアアンケート

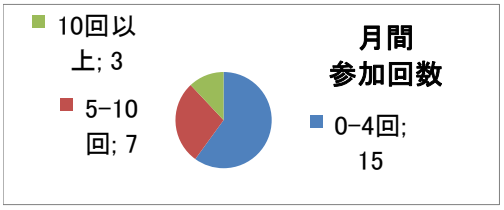
援農ボランティア部会　井出史郎

昨年 11 月に援農ボランティア活動に関するアンケートを実施いたしました。
実施内容は以下の通りです。

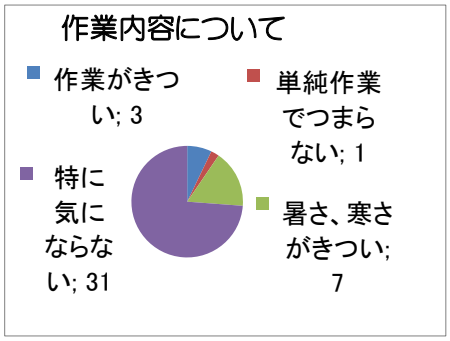
＞アンケート発送件数--66 件　　＞回収件数＞46 件

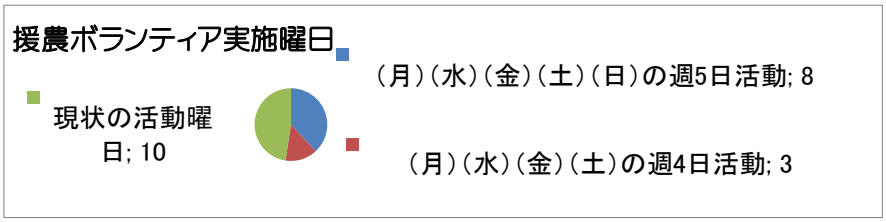
設問については、以下のような項目でご意見を頂きました。
内容については主だった意見を以下に抜き出してみましたので、ご参照いただければ幸いです。





- **援農ボランティア活動参加及び内容についての状況（※グラフ参照）**





- **実費弁償について。**
  - ◈出来るなら￥500/回でもよいのではないか。車で移動している参加者には、その程度必要だとおもう。
  - ◈もともとボランティアとしてスタートしており、現状金額でガソリン代は賄える。受入れ農家さんは気を使ってお土産をもたしてくれる。
  - ◈ボランティア活動であるので、見合う費用という考え方が違うのではないか。
- **援農ボランティア活動で印象に残った、出来事など。**
  - ◈年配のかたでも体力があって感心した。
  - ◈親切に接してもらいやる気が出る。
- **援農ボランティア活動を活発にするにはどうしたら良いか。**
  - ◈援農ボランティア養成講座の内容を見直し、魅力的な研修とする。
  - ◈養成講座をやめ、通年で募集をし参加希望者は即参加していただく。
  - ◈援農ボランティアメンバーの横のつながりを強くする。
  - ◈通年のイベントがマンネリ化している、これを刷新してはどうか。

・ボランティア活動への参加については、参加いただいている個人の体調・事情等を考慮いただき、出来るだけのご協力をお願いしてゆきたいと思っています。

・活動内容については、概ね活動を楽しまれているという回答を頂きました。
しかしながら、改善すべき点も多く見つけることが出来ましたので、これからの活動に活かしていきたいと思っております。

（アンケート結果について、詳しい結果をお知りになりたい方は、事務局にお問い合わせください。）

３．あびこ農力発見プロジェクト

あびこ農力発見プロジェクト委員　　白澤　幸雄

１．料理教室

（1）「第７回料理教室」は、12 月 10 日（土）川村学園女子大学にて、講師：福永淑子教授のご指導のもと開催しました。

①テーマ：我孫子産野菜を使ったクリスマス料理と音楽と一緒に五感で味わう栄養講座

②今回は、クリスマス料理主体の料理、前菜（３品）、主食（２品）、スープ（２品）、主菜（２品）、デザート（２品）の中から各１品ずつ各自選び、食事をした後、福永教授よりそれぞれの料理のカロリー計算を教え

て頂き、各自が適正な料理を選んで食事をされたかを学ぶ、更に我孫子オーディオファンクラブのご協力により、クリスマス音楽を主体に流していただき、栄養講座のエンディングに参加者、福永淑子教授を始めとするスタッフ全員が輪となり、音楽の演奏に合わせてプレゼントを順送りし、演奏が止まって、手元にある品物が頂けるプレゼントということで、美味しい料理と久しぶりに楽しいひと時を味わえたと喜んで頂きました。

第７回料理教室

③参加者：66 名（一般 40 名、スタッフ 16 名）

：小学生から 30 代～80 才の、幅広い年代層での参加でした。

④参加費：500 円（大学生以下 300 円）

（2）「第８回料理教室」は、２月 11 日（土）川村学園女子大学にて、講師：福永淑子教授のご指導のもと開催しました。

①テーマ：ようこそ！我孫子の野菜入り点心の世界へ食べて学ぶ栄養講座

②我孫子の野菜と点心を五感で味わいながらの、おいしく学ぶ講座を行いました。前回好評でありました、素敵な音楽とともに学びました。我孫子オーディオファンクラブに引き続きご協力を頂きました。

③参加者：72 名（一般 49 名、スタッフ 23 名）

：10 代～80 才の、幅広い年代層での参加がありました

④参加費：500 円（大学生以下 300 円）

２．農産物直売所の PR 映像等の制作

我孫子市内・近郊都市向けへの情報提供用媒体の制作

（1）直売所プロモーションビデオ（PV）は、「我孫子」、「地元農産物」、「イベント」、「地産地消の取り組み」をテーマに制作しました。試写会での意見を基に台本の校正、ナレーションの収録を経て、２月末に完成しました。

（２）直売所イベント PV は、「周年記念イベント」、「新米フェア」、「新そばまつり」、「農業まつり」、「年末感謝祭」を制作しました。

（３）情報発信ツールとしての YouTube「あびこんチャンネル」を開設し、イベント PV を公開しています。今後もイベントが近づき次第、順次公開してまいります。
※多くの皆様に YouTube で「あびこんチャンネル」をご覧いただき、チャンネル登録をお願いします。登録数が増えると検索されやすくなります。

（４）ホームページはすでに公開されています。Jimdo というプログラムを使用しており、更新操作も直感的に行なえます。また YouTube や Facebook も組み込まれています。
是非、ご覧になって下さい。　https://www.abiko831.jp

３．直売所パンフレット

我孫子市内・近郊都市向けへの情報提供用パンフレットの制作、パンフレットは二つ折り A4 仕上がり 3000 部と DM 巻き三つ折り A4 の 1/3 仕上がり 17000 部の２種類を製作中です。

４．「あびこん」直売所・レストラン

手賀沼親水広場の「水の館」に整備中の我孫子市農業拠点施設が３月末に完成します。施設内には我孫子農産物を活用しましたレストランがあり、４ 月下旬からプレオープンいたします。また、６月上旬には、農産物直売所もオープンします。是非、ご利用の程お願い致します。

４．年末のつどい

広報部会　　若王子範文

28 年１２月 17 日夕刻けやきプラザ９階我孫子南近隣センターにて協議会活動の１年間を振返り、来年の飛躍のため、恒例の年末のつどい（忘年会）が開かれました。農家さん・あびこ型地産地消推進協議会員そして協議会に係る 57 名の方が集合しました。

星野市長よりご挨拶を頂き、水の館への移転を控え大いに励まされました。

各部会や 13 期養成講座を修了された方の紹介が有りました。食育クイズ・演奏等が有り、歓談中には農力発見プロジェクト作成のＤＶＤがスクリーンに流されていました。

楽しく話が弾む懇談

料理は新鮮で味の良い我孫子産の野菜がふんだんと協議会員農家さんから提供を受けました。『みんなの広場「風」』の皆さんが新鮮野菜のオードブル・サラダからデザート（手打ちうどん・蒸しパン・野菜の煮物・スープ等）まで、いろいろな味の料理を頂きました。

5．新年ちびっ子餅つき大会 2017

総務部会　齋藤　徳剛

前日のみぞれ混じりの天気から一転し、朝焼けの中『新年ちびっ子餅つき大会 2017』の日は明けた。気温は零度に近いが、陽が出てきて体を暖かくしてくれる。あびこん広場に実行委員を中心に 20 人近い人が集まり、テント設営他次々と準備が進んでいく。獅子舞の太鼓、笛の音が気分を盛り上げる中、子供たちの慣れぬ手つきでの餅つきが始まった。ヨイショ！ヨイショ！の大きな掛け声、お父さん・お母さん・おばあちゃんなどが写真を撮る先で餅つきが次々と行われた。餅つき体験の感想を聞かれた子供たちの『たのしい』の言葉にイベントの良さを気づかされました。

獅子舞（我孫子ふるさと会）

我孫子ふるさと会の獅子舞・休憩所・お汁粉振舞い・磯辺焼き・くだもの直売所・似顔絵コーナー・川村学園学生のバルーンアート・あびこ子どもネットの Ｊｒと遊ぼうコーナーと盛りだくさんで会場は多くの笑顔と歓声であふれかえっていた。

11 時頃には市長も来駕し、各所を廻り、来場者と懇談していた。直売所横の飲食コーナーに目を転じると、みんなの広場「風」によるうどん店蒸しパンクッキー・カレー屋・ラーメン店・うな吉焼きなどの店が並び多くの人が笑顔で買い食いを楽しんでいた。会場にいる大勢の笑顔を見、大きな話し声を聞くと大会は成功と思えました。

磯辺焼き

本大会の運営は会員有志及び各部会選出の実行委員会方式で実施し、役割分担は部会割り当てにて行いました。もち米の手配や仕込みなど餅つき全般については「援農ボランティア受入農家有志」の皆さん、お汁粉サービスの仕込みから提供までは「食育交流部会・エコ農産物普及推進部会」、磯辺焼きは「広報部会」、会場整理とちびっ子の安全確保等は「学校給食支援部会」、駐車場の整理と誘導等は「援農ボランティア部会」、進行アナウンスやゴミ箱設置等は「総務部会」が担当した。このほか当日参加のサポーターの皆さん、川村学園のボランティアも合わせると約 50 名の方々が参加してくださいました。朝 7 時半のテント設置から午後 2 時の後片付けまで事故も無くうまく運営ができました。

最後に、会場を提供して頂き運営全般に最大限のご協力を頂いた「あびこ農産物直売所あびこん」「株式会社　あびベジ」「我孫子市農政課」の皆さんには、紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

【概況】開催日：平成 29 年 1 月 21 日（土）
来場者：千人超・餅つき参加ちびっ子：延べ約 250 人

６．イベント

・採って食べよう秋野菜・芋煮会！　　食育交流部会　白澤　幸雄

採って食べよう

2016 年 11 月 26 日（土）10:00～13:00 香取農園（都部）にて、参加者 33 名・スタッフ 10 名（香取農園さんから３名のサポートして頂く）あわせて 43 名にて開催しました。香取農園では、香取さんから野菜に関するクイズを、子供向け、大人向け両方の問題を出していただき、子供たちは元気に手を上げ答えておりましたが、親御さんは遠慮気味に答える姿が好対照でした。引き続き２班分かれて、里芋、さつま芋、白菜を実際にはどうしてこのように出来るのかを農家さんから教えていただき、自分たちの手で収穫することの喜びを味わって、和気あいあいとした楽しい雰囲気で進みました。

その後、五本松公園に移動し、相馬さんから野菜に関する手作りの紙芝居を披露し、新米のおにぎり、採りたての新鮮野菜による芋煮汁と五本松公園のキャンプ場の雰囲気がマッチングし、何回もお替わりをされ、お鍋以外は綺麗に食べて頂きました。

アンケート調査によりますと、前半のクイズと紙芝居が大変好評で、参加されましたお父さん、お母さん方から、子供たちの食育に役立つ良い機会でした、普段できない体験をさせて頂きました、里芋、さつま芋堀体験を通して、農家さんの野菜作りの大変さと、採るときの難しさを親子共々、勉強になりました等々感謝のご意見がありました。

・我孫子市消費生活展　　広報部会　　若王子範文

第 41 回我孫子市消費生活展は平成 29 年２月４日（土）５日（日）に市民プラザで開催されました。

星野市長のご挨拶

全体テーマを『**明日への備え**～熊本地震で見えたこと～』として８団体が９のテーマでそれぞれのテーマごとに４枚のパネルを作成し展示しました。当協議会は「**災害発生“その時”**」をテーマに災害を受けた熊本の農業をテーマに２枚に自治体（益城町）の対応を１枚そして我孫子市水道の放射線量検測結果を１枚作成しました。

２日間で入場者が６３６人になりました、１日目のオープニングには星野市長も駆けつけて頂きご挨拶を貰いました。会場中央では「科学遊びや折り紙遊び他」で子どもたちも楽しみ、ゴミ袋の雨カッパ・新聞紙スリッパ等の災害時に便利なグッズもありました。

各団体ともパネルの説明やチラシ配りに忙しくしておりました。

7. 協議会ホームページ１周年！！

広報部会　　植木康雄

28 年３月 21 日に協議会ＨＰがリニューアルし、間もなく１年を迎えます。その間、ＨＰ検討委員会メンバー一人一人のご努力により 30 回の会合を重ね、現在に至っております。又、会員の皆様方には、ＨＰ掲載記事や写真投稿に多大なご支援・ご協力を頂き感謝申し上げます。
この１年間のＨＰ記事を下記に記載します。

カテゴリー	件数	主　な　内　容
お知らせ	１６件	(下記内容のお知らせを含む) 協議会総会(5 月)　農業まつり(11 月) 新そばまつり(11 月) ちびっこ餅つき大会(1 月)　消費生活展(2 月)
イベントレポート	８件	あびこん新緑苗木フェア(4 月)　新米フェア(9 月)
援農ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	１　０件	養成講座座学と農家実習(10~11 月)
エコ農産物	３件	エコバスツアー(11 月)　年末のつどい(12 月)
食育交流	４件	料理教室(3 月、11 月)　　採って食べよう(11 月)
今月の旬	１０件	冬～春の農産物(3 月)　春～夏の農産物(5 月) 夏の農産物(5 月、6 月)秋～冬の野菜(10 月、11 月)
学校給食	３件	今日の給食(第一小、布佐小、我孫子中)

他に、地産地消推進店制度(見る・買う)、水の館・あびこ農力発見プロジェクト(広く知る)を掲載。
更に、Facebook を開設し記事投稿を開始しました。皆様からの投稿を募集中！！
現在、ＨＰ検討委員会では直売所マップ(今はリンクで対応)・レシピ(新規作成)を３月末完成目途に作成中です。お楽しみに！！

あびこ 地産地消コム　見る・買う　ふれあう・体験する　広く知る

8. 編集後記

広報部会　　武井　伸勝

本号においては、秋から冬に開催されたイベントを中心に編集しました。エコツアー、料理教室、ちびっこ餅つき大会など、食と農を通じ、市民と生産者が楽しく美味しい交流を図ることができました。ご参加いただいた方、関係者の皆様、本当にありがとうございました。いよいよ本格的な春が訪れます。野菜たちの成長に勢いが増し、生命の息吹を感じられるのが楽しみです。会員の皆様にとってよい季節を迎えられるよう心よりお祈りしております。

春の畑